

ひだごぼ真宗教化センターだより 2022年2月号

Shinran
\$500

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2022(令和4)年1月27日 第19号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞
高山市鉄砲町6 TEL 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp takayama@higashihonganji.or.jp

別院のお朝事をおして

■念仏讃二洵を参詣者とともに唱和

「帰命無量寿如来～」

毎朝7時に輪番の調声で高山別院のお朝事が勤められます。

『正信偈』草四句目下の後、歴代御門首ご命日には念仏讃三洵、それ以外の日には念仏讃二洵で、和讃はお正月から回り口で勤めます。回向の後に「飛騨御坊祠堂経」のお勤めとして、『仏説無量寿経』上・下巻、『仏説観無量寿経』を一区切りずつ読誦し、その後に、御文さまを一帖目から回り口で拝読して、お仏飯をお供えし、10分程度の法話が行われます。

お朝事には、1月の寒く雪の降る朝で少ない時でも3～4人、気候が良い時期には20人近くのお参りの方がおられます。お参りのご門徒もそれぞれに声明集や三部経本、御文本をお持ちになっておられ毎朝一緒にお勤めします。二洵を一緒にお勤めされるご門徒は全国見渡しても数少ないのではないのでしょうか。聞いた話で



高山別院お朝事の様子

すが、以前、諸事情で輪番も列座もお朝事にお参りできなかったときに、ご門徒さんのお1人が調声されて、お参りの方々だけでお朝事をお勤めされたこともあったそうです。

■函館別院本堂のこと

私は高山に帰ってくる前、函館別院で列座を勤めておりました。函館別院では、毎朝のお朝事にお参りされる方は昔は何人かおられたそうですが、私がお参りしていた時にはお1人でした。

毎朝、まず直綴、墨袈裟をつけ、本堂に入り、灯明をともし内陣の清掃をし、お朝事の準備をします。先輩の列座が、昔は灯明をともし御本尊の前を横切ったら、お参りしていたご門徒さんに、「あんた新人さんか？御本尊の前を横切るもんでないよ」とお教えいただいてお育ていただいたと、そんなご門徒さんも1人2人とお亡くなりになられておらんようになってしまったと話されました。

函館別院の本堂は、大正4年に建てられた日本初の鉄筋コンクリート寺院です。今から20年以上前のことだと思いますが、別院に外国の建築の専門家が見学に来られたそうです。その当時の輪番が案内をした際に、素晴らしい本堂だと称賛しながら見ておられる専門家に、今なら技術も当時に比べて上がっているから、もっと素晴らしいものが造れるでしょうとお聞きしたそうです。そうしたら、「ノン、ここが違う」と胸に手をやり言われたそうです。現在の本堂が再建された当時は、鉄筋コンクリートということに反対もあり大変なご苦労があったそうですが、別院が火事で何度も焼けていたことから、

火事に強い鉄筋コンクリートとなったということです。工事の時の話ですが、函館は海に囲まれていて砂利にも塩分が含まれていて良くないからと、ご門徒さんが真水できれいに洗ったものを使ったのだとお聞きしました。

その外国の建築の専門家の方は、お寺のことやと当時のご門徒お一人お一人が心を尽くして建てられた、その心が今の技術でも建てられないものを造ったのだといわれたそうです。



函館別院本堂 宗祖御真影が御本尊左側に並列して安置されている

■まずはお朝事を大切に

高山別院の本堂も、同じくご門徒お一人お一人が心を尽くされ建てられ、その心が詰まっている本堂です。2019年の御遠忌には、屋根や内陣がきれいに修復され床板も新しくなりました。2年がたち汚れがついたところもありますが、40年後の800回御遠忌法要に、別院本堂の形あるものだけでなく、その形をおして、また本堂で勤められるお朝事などの儀式をおして心も残していけるように、お参りされているご門徒さんのお育てにあずかりながら、まずは毎朝のお朝事を大切にお勤めしていきたいと思えます。

高山2組 誓願寺住職
高山別院列座

澤邊 恵亮



★センター・別院からのお知らせ★

※各行事は、コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

第2回企画会議・帰敬式法座スタッフ会の開催

去る1月25日、企画会議と帰敬式法座スタッフ会を開催されました。主な協議事項、確認事項を以下のとおり報告します。

1、「帰敬式法座」基本構想の策定

高山地区で「帰敬式法座」を行うための基本構想の策定作業を行った。2022年度を実施年度とし、慶讃事業として多くの方に高山別院報恩講において帰敬式を受式いただけるよう取り組む。実施（特に事前学習）については組と連動し、7ブロック（1カ組を1ブロック）による取り組みを進めていく。

2、岐阜高山教区「帰敬式実践運動推進計画」の策定に向けた協議

高山地区においては、既に帰敬式を三本柱の一つとして推進していくことが確認されているが、改めて帰敬式を推進していくための基本姿勢を確認した。今後は、様々な機関で協議・確認を行い今年度中に策定がなされていく。

3、全飛組門徒会研修会の開催に向けた協議

2022年8月下旬～9月上旬にかけて、全飛組門徒会研修会を開催する。研修会の内容（日程）については、改めて協議・確認の後、組長及び組門徒会長へ通知を行い、参加者を募っていく。

書いてもらう法語掲示-書道塾に依頼 御坊法語研究会

高山別院では、境内掲示板及び本堂内に「法語」の掲示を行っております。このたび、市内書道教室にも法語の筆耕協力をご依頼したところ、5教室（23名）からご快諾のお返事をいただきました。つきましては、書かれた法語は、3月1日から10月末まで、1ヶ月毎（毎月3名ずつ）に順次貼り替えを行ってまいりますので、是非ご覧ください。



別院掲示法語

第40回 真宗公開講座 3月7日 午後2時～

講題: 真宗絵伝の信仰文化 講師: 安藤 弥師(同朋大学教授)
主催: 同朋大学 卒業生有志 会費: 500円

得度研修会 4月4日 午前9時～

会場: 高山教務支所 申込: 高山教務支所まで申してください。
参加費: 5000円 締切: 3月4日(金)

※申込、詳細については、同封のチラシをご確認ください。

■親鸞聖人の慶びの歌「正信偈」

真宗は「報恩講教団」と言われます。これは宗祖親鸞聖人の御恩に報いる御命日のお勤めを指して言うわけですが、その前に、宗祖親鸞聖人は阿弥陀という仏さまに出遇われた。私たちの知らないはるか昔からお前たちを救わんなんと願いを発して、法蔵菩薩の時に五劫思惟され、お念仏をすべての人に届けようと誓われた仏さまに出遇われた。

他のほとんどの仏さまは、煩惱減らせよ、悪さするなよと、良い人になろうとする者を救ってやると言われる。ところが法蔵菩薩という方は違う。お前たちはみんな小さな子どもたちと同じや。あれをせよこれをせよと言ってもなかなかできない。それを叱ってもどうしようもない。そういう中で法蔵菩薩は、私自身がすべての者を救える仏となろうと誓い、阿弥陀となつてくださった。

すでに阿弥陀という仏さまがござる。親鸞聖人は、一人の悩める煩惱だらけの罪業深重の人間であると悩む中で、阿弥陀仏の願に出遇うことが出来た。親鸞聖人がそのことを慶んで歌にされたのが「正信偈」です。

カラオケに行きますと自信のある方は「マイウエー」を英語で歌う。「ええ歌やな～どんな意味があるのか」と問われると「意味はわからん」と。「正信偈」は漢文で書いてあるので

意味がわからんということで、日本語で分かりやすく書いたのが「和讃」。つまり親鸞聖人はご自身がいただかれたこと、そのことを私たちのために和らげて書いてくださった。

いや俺は鎌倉時代のお坊さんの恩なんかは受けておらんぞ、と思われる方がおられるだろう。だけれども、阿弥陀という仏さまがおられることを私たちに知らせていただいたことに気づけば、そのご恩に報いると。

■報謝の証

一すぼけた御本尊と手垢のついた勤行本

飛驒は古くからの真宗門徒が多いところ。中には蓮如上人や実如上人のお書きになった名号が伝えられている家もあります。そういう仏さまは、だいたいすぼってしまつて真っ黒です。お勤めの本や「御文」さまは角が丸くなって破れたり汚れておる。ただそれはほかっておいて汚れたのではないですね。これはご先祖が真宗門徒となつて、毎日毎朝お灯明を灯し、線香をくゆらせて、「正信偈・和讃」のお勤めをし「御文」さまをいただいた。そういう生活をずっとしてきた。

おそらく私が知らないはるか前からご先祖が真宗門徒となり毎朝毎朝お勤めをしてきた。その証がすぼった仏さまや角の丸くなって汚れたお勤めの本で、それが報謝の証なのではないで

しょうか。

■御遠忌法要に遇ったものの使命

今日の法要ですが、椅子席である関係でお参りいただく人数には制限があります。そしてまた小さいお子さんの手を引いてやってくるということもできませんでした。だからこの「宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要」をきっかけとして我が家でもどうや。すぼけた仏さまや手垢で汚れた勤行本がある。この真宗門徒として御本尊とお聖教をまた次の世代へ伝えていかんなんではないか。そういうふうにならんのではないかなと思います。

この「宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要」をお迎えするにあたって、いろいろ苦勞をしてまいりました。そういう中で「やれやれ終わった」としてしまつてはだめです。ここから始まるんです。

今日この御遠忌法要にあえてよかったよかったと、この気持ちが失せないうちに、我が家でも真宗門徒の家として、この後もお念仏を相続できるように努めていかんなん。「みんなでいっしょにお内仏にお参りせんらんな～」と、そういうふうにしていただける法要となることを願っております。



『高山市民時報』ミニ法話『響』2月の寄稿者

- 旭野康裕氏（益田組 永養寺住職）
- 三島 多聞（高山別院輪番）
- 四衢 亮氏（高山1組 不遠寺住職）
- 佐藤義晃氏（清見組 了徳寺住職）

web ひだご坊でも「一口法話」配信中！

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

聖教学習会 講師 マイケル コンウェイ 氏(大谷大学准教授)
〈育成部会〉 テーマ 『安楽集』に学ぶ 一時機の自覚

- 【第1回】2月2日(水) (中止) [日程] 13:30~16:00 (共通)
- 【第1-2回】2月14日(月) [会場] 高山教務支所
- 【第2-3回】2月25日(金) [会費] 500円

※第1回を中止し、2/14の回から開催いたします。なお、今後のコロナ感染状況により中止延期になる場合もあり、3/8(火)・3/15(火)を予備日に設定しております。中止延期については、「web ひだご坊」をご確認いただくか高山教務支所までお問い合わせください。また、WEBでの受講をご希望の方は、教務支所までメールでお申し込みください。

飛驒御坊真宗教化センター・高山別院 2022年2月行事予定 ※コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
1	火	14:00	☒ 真宗公開講座(講師:狐野秀存氏) 中止	高山別院
2	水	13:30	☒ 聖教学習会① 中止	
3	木	13:00	☒ 三日のご坊 法話:達顕信氏(教務所主事補)	本堂
4	金			
5	土	7:00 19:00	☒ 半日華 ☒ 同朋唱和の願いを考える会(朝高組) 延期	圓城寺
6	日			
7	月			
8	火	10:00 13:30 13:30	☒ 連区同推協代表者会議 WEB ☒ 真宗同朋会支部長会議 延期 ☒ 益田組 法名に関する懇談会	高山支所 研修室 桂林教会
9	水	14:00	☒ 慶讃法要組団参説明会・抽選会 WEB	高山支所
10	木	13:30	☒ 法要教化部会 WEB	高山支所
11	金	13:00	☒ 大谷婦人会定例 法話:輪番	御坊会館
12	土			御坊会館
13	日	7:00	☒ 前往上人ご命日	本堂
14	月	13:30	☒ 聖教学習会①(講師:マイケル・コンウェイ氏)	研修室
15	火	13:30	☒ 高山2組 組門徒会研修会	御坊会館
16	水			
17	木	10:00	☒ 連区同推協代表者会議 WEB	

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
18	金	19:00	☒ 朝日高根組親鸞教室⑤	常照寺
19	土			
20	日			
21	月			
22	火			
23	水			
24	木	19:00	☒ 教化研究所	高山支所
25	金	13:30	☒ 聖教学習会②(講師:マイケル・コンウェイ氏)	研修室
26	土	7:00	☒ 半日華	
27	日	13:00	☒ 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	月	13:00 19:00	☒ 親鸞聖人御命日 法話:内記 洸氏(往還寺副住職) ☒ 高山2組 親鸞教室⑤	本堂 御坊会館

2022年3月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
3	木	13:00	☒ 嘉念坊善俊上人法要・総会	10	木	14:00	☒ 解放推進協議会公開学習
4	金	14:00	☒ 慶讃広報部会	12	土		☒ 朝日高根組後期教習~14日
7	月	14:00	☒ 真宗公開講座 講師安藤氏	14	月		☒ 益田組門徒会研修②
9	水	13:00	☒ 高山支部坊守研修会①	14	月	9:00	☒ おみがき

※清見組(2月4日~6日)、高山2組(2月11日~13日)の後期教習は中止・延期となりました。